

# アンケートから

今日の交流会はいかがでしたか？

もう少し工夫すべき具体的について

発表している人の声がある場に聞こえるようにしてほしい

事前に一般の人達に開催を知らせるようにしたら。

司会の討論の進め方を考えたら。

その他なんでもお気づきのことがございましたらご記入ください。

高齢者の安心とはの分科会に参加できて参考になり勉強になりました。

もっと広く市民に参加してもらいたい。役員の皆様ありがとうございました。

他の分科会のマイクの内容が流れてきて聞きづらかった。会を進行している人は

マナーモードにして、途中で携帯を見るのはやめた方がいい。

寒かった。他の方の話が聞こえにくかった。実行委員（係りの人）がどなたかが  
分らなかった。話し合いの人数が減って少なかった。

私は今日から料理を作ります。（男性）

アンケート書きやすかった。

明日来るかも大地震の講演はよかったです。大雪の中人数が集まったとも思いますが、  
段々と減ってきて関係者のみのような気もします。次回は方向を変えてはどうでしょうか？  
天候が不順で参加者が少なかったので残念であった。

一緒に食べたり話したりは、なかなかよいですね。

第1回交流会雪の日を思い出しました。8回目を迎えられたのも、日々これを支える  
ボランティアの方々の思いであると感じた。

亀山はシャープで有名になったが市民活動でも全国に発信できる「きらめき亀山21」  
を目指してほしい。

分科会のテーマはもう少し多い方がよいのでは。参加者も増えるのではないのでしょうか？  
市長や市職員関係は、統治ではなく、住民自治である基本を忘れるな。亀山市はこの点で  
相当な遅れがある。

家族で参加したいなーと思う。内容を1ケでもよいので入れてほしい。

例 ハーモニカ、琴、他の楽器の伴奏で皆で歌おうとか。フォークダンスとか。

非常食は旨すぎる。我が家の五目ごはんより美味しいです。災害時のほうがいいものが  
食べられるの？

子どもさんのわらべうたは大変良かったです。残念なことに今日のテーマ「明日来るかも  
大地震」は全ての人にとって関わりがあることです。川口先生は子どもがいる時にはそれな  
りの話をされる方です。防災は家族皆で話し合うことです。防災について話を聞いてみたい  
です。

分科会での話し合いを機に何か自分のできることをお書きください。

人との対話が大切なことがよくわかった。(高齢者の安心とは分科会)  
より元気を出して野菜作りに励みます(安心な食べ物分科会)  
文章に書きにくいですが良い勉強をさせていただきました。参考にさせていただきます。  
(食分科会)  
家庭菜園(安心な食べ物分科会)  
健康な食事を家族、周りの人といっしょにしていきます(安心な食べ物分科会)  
報道や数値に踊らされない食の安全は自己責任で。(安心な食べ物分科会)

日頃の備えなど意識をもつことが大事だと感じました。(明日来るかも大地震分科会)  
外国産より身近な国産を感謝していただくこと。日本の文化、歴史、食材など  
次世代に伝えたい(安心な食べ物分科会)  
食については粗食に心がけたい。家庭菜園をもっと勉強していきたい。  
スーパーの食品を選ぶことが大事と思う。(安心な食べ物分科会)  
朝食をごはん食に変える。(安心な食べ物分科会)  
常、日頃から防災に対する気持ちを持つこと(明日来るかも大地震)

家族で集合場所を決める(明日来るかも大地震)  
自分で食物の安全確認ができるようにする(安心な食べ物分科会)  
一応家族全員の非常食等用意しておりますが、これを機に見直したいと思います。  
地震分科会

親子の現状を伺って親の卒業生の老人として子どもを守り育てる「社会の手」に  
関わりたい

(子どもを悪から守る分科会)  
メーリングリストに加入し、携帯の使用をよく知ること。(子どもを悪から守る分科会)  
皆さんと話し楽しく聞かせていただきました。次回参加したいです。(高齢者の安心分科会)  
まず参加することだと思います。(高齢者の安心分科会)  
防災について再認識しました。大地震の話聞いて心構えを持とうと思った。  
(大地震分科会)

食については地場産のものを購入していく。(高齢者の安心分科会)  
子どもと一緒に野菜を何か作ってみます。(安心な食べ物分科会)  
亀山でも治安が悪くなりつつある中、私は地域で子ども達を守る組織に入っています。  
もっと市民が積極的に取り組めるよう努力したいと思います。(子どもを悪から守る分科会)  
亀山の人の食にたいする考え方が分った。やはり地産地消の考えを持って、食生活を  
考えておられ、自分も実践したいです。(安心な食べ物分科会)  
食の安全は表示だけを頼るのではなく、自分の舌や経験を生かすことも大事です。  
まず自分、次に家族、地域(共助)を考える。

災害が起きたらできることをやらなければならない。

ルール知識を身に付けて、もっとうまく広範囲に使用していきたい。(子どもを悪から守る  
分科会) 市民とのコミュニケーションを重ねると共に行政や企業などの情報公開を進め、  
協働参加意識を高めること(明日来るかも大地震)



